

戸田公園周辺ブランディング業務（プロポーザル選定）質問内容一覧

No.	仕様該当項目	質問内容	回答
1	2(1)目的	現在の「県営戸田公園・戸田漕艇場」および「ボートのまち戸田」に対する市としての認知イメージ（ポジティブ・ネガティブ双方）についてお考えがございましたらご教示ください。併せて、令和7年度に実施された市民意識調査について、公開資料以上の詳細データ（可能な範囲での年代別・属性別等のクロス集計結果）のご提供は可能でしょうか。	<p>「県営戸田公園・戸田漕艇場」および「ボートのまち戸田」に対する市としての認知イメージ</p> <p>1. ポジティブイメージ</p> <p>(1) スポーツ・健康志向の象徴</p> <p>「戸田漕艇場」は日本唯一の静水ボートコースとして競技者の中では全国的にも知名度が高く、ボート競技の聖地としての認知がある。</p> <p>学生やアスリートの競技施設として、スポーツ振興のイメージが強い。健康的・アクティブな都市イメージを喚起。</p> <p>(2) 自然・水辺環境の魅力</p> <p>広大な水面や緑地が、都市部にありながら自然との接点を持つ街という印象を与える。</p> <p>(3) 地域ブランド・イベント価値</p> <p>ボート大会等のスポーツイベント開催による観光・交流の場としての評価。「ボートのまち」として、地域の独自性がある。</p> <p>2. ネガティブイメージ</p> <p>(1) 市民生活との距離感</p> <p>ボート競技は活動場所が限られており、新規参入のハードルが高いことから、スポーツ全体の中で競技人口は少ない。また県営公園自体が競技者の利用がほとんどで、市民の生活や関心からは少し離れた存在になりがちで、市民の日常的な利用が限定的。その点は、市外の人から見たときも同様であると考えており、来訪の目的地としては選ばれにくさがある。</p> <p>(2) 街全体の認知とのギャップ</p> <p>「ボートのまち」というコピーからは、市街地や商業・生活面の魅力が伝わりにくく、都市としての多面的な魅力は伝わりづらい。</p> <p>(3) アクセス・利便性の課題</p> <p>戸田公園駅からのアクセスは悪くないが、市の南端にあるため、市内住民にとっては「行きにくい」「特定イベント向け」という印象がある。</p> <p>ボートコース自体は競技者のための施設であるため、体験会等以外で訪れた人が体験できる機会は無い。</p> <p>市民意識調査の詳細データについて</p> <p>市民意識調査につきましては、ホームページ上で公開済の内容を参考にご提案をいただきたく存じます。</p> <p>市ホームページ<a href="https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/152/kikaku-siminishiki.html">https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/152/kikaku-siminishiki.html</a></p>
2	2(1)目的	これまでに戸田市が実施してきたシティプロモーションまたはブランディング関連施策において、特に成果が得られた点、または課題として認識されている点がございましたらご教示ください。	過去には、戸田市に誇りや愛着を持ってもらい、認知度やイメージを向上させることを目指し、シティセールス戦略の策定を行っておりますが、戦略の計画的な実施や効果検証までは至らなかったため、効果的なPR戦略については、市の課題とも言えると考えます。
3	2(1)目的	仕様書に記載の「埼玉県が実施する県営戸田公園及び公園内施設の機能強化等」について、想定されている主な実施内容およびスケジュールをご教示ください。また関連する計画資料（図面、工程表等）がございましたら、受注予定者へご提供いただくことは可能でしょうか。併せて、埼玉県との協議・調整における使途受注者の関与範囲についてもご教示ください。	現時点で公表できる内容につきましては、市ホームページ（ <a href="https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/152/kikaku-chiikimiraisuisin.html">https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/152/kikaku-chiikimiraisuisin.html</a> ）で公開しております。
4	2(1)目的 2(2)ア	「幅広い世代を対象」「市民」との記載がありますが、本事業における市としてのターゲット（市民重視か、市外からの誘客重視か、年齢層や地理的範囲等）について、現時点でのお考えがございましたらご教示ください。	本事業は、国の地域未来交付金の採択事業であり計画上の成果指標について、下記の資料で示しております。
5	2(1)目的	本事業で訴求する「ボート」は、漕艇（ローイング）を主対象としたものと理解しておりますが、競艇（BOATRACE戸田）を含む広義の「ボート」を想定されているかについてご教示ください。また、BOATRACE戸田との連携の可否や基本的な整理方針がございましたら併せてお示しください。	「ボートのまち」としての「ボート」の概念には漕艇（ローイング）と競艇（モーターボート）の両方が含まれますが、本業務における「ボート」の対象範囲としては、選定説明書内2（1）目的に記載のとおり、県営戸田公園及び漕艇（ローイング）を想定しております。
6	1(4)支出限度額 2(2)ウ	PRツール制作（動画制作、ブランドツールの作成、インフルエンサー活用等）に係る費用については、すべて支出限度額の範囲内で積算する認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。

戸田公園周辺ブランディング業務（プロポーザル選定）質問内容一覧

No.	仕様該当項目	質問内容	回答
7	2(2)ウ( )	PR動画の制作について、市として想定されているボリューム感（本数・尺の目安）、構成（単発／複数本・シリーズ展開の可否）、形式（CM形式、ドキュメンタリー形式、縦型動画等）に関する考え方がございましたらご教示ください。	ボリューム感、構成及び形式については、その効果を最大限に発揮できるよう、市として具体的に定めることはせず、提案者の創意工夫にお任せしたいと考えております。
8	2(2)ウ( )	インフルエンサー等第三者を活用したプロモーション施策について、想定されるインフルエンサーの規模感、市として望ましくないと考えられる属性や発信内容、起用費用に関する考え方がございましたらご教示ください。	費用については予算内で他の経費を圧迫しない範囲であれば、特段指定はございませんが、より効果的なPRとなるよう、対象や人数などを検討、提案いただきたいと考えております。また、過去の投稿が今回のテーマとかけ離れすぎている、公共性の観点から適切でないと考えられる内容や発言がある、等については望ましくないものと考えます。
9	2(2)ウ( )	市として既に整備されているVI（ビジュアルアイデンティティ）やブランドガイドライン、トーン＆マナー等がございますでしょうか。また、本業務で使用可能な過去の画像・動画素材がございましたらご教示ください。	VI、ブランドガイドライン、トーン＆マナー等はありません。使用可能な画像・動画素材は、市HP掲載のもの等であれば御使用いただけます。また、2018年に制定した「ボートのまち戸田」のキャッチコピーについて、市ホームページに掲載しております。 市ホームページ（ <a href="https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/194/bunka-sport-boatnomachicopy.htm">https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/194/bunka-sport-boatnomachicopy.htm</a> ）
10	2(2)イ	交通広告、WEB広告、SNS広告等に係る広告媒体費（実費）については、支出限度額に含めて提案・積算する想定でしょうか。それとも、本業務の主な範囲は企画・制作・運用管理費までとする想定でしょうか。	広告媒体費（実費）も含む想定であります。予算の範囲内で対応可能かつ、より効果的と思われる媒体を活用した提案を想定しております。
11	2(2)エ	ワークショップ等の実施について、年間の開催回数や1回あたりの参加者規模の目安がございましたらご教示ください。また、参加者募集の告知、会場確保、当日の運営に関する市と受注者の役割分担、市の広報媒体による協力の可否についてご教示ください。	年間の回数については、指定はありませんが、効果的に実施するためにゴールを設定いただいた上で、何回実施するか、各回にどのような目的を持たせて実施するかを考えていただきたいと思います。参加者の規模については、10～15名程度の参加者を想定しております。また、会場は市の施設等を想定していることから、受注者のほうで確保いただく必要はありません。参加者募集等の告知については、市の媒体等も活用した連携を検討しております。 なお、当日の運営等につきましては、基本的に受注者側で対応いただくことを想定しております。
12	2(2)カ	フィールドプロモーション活動等を実施する際、公園や公道等の使用許可申請、警察・消防・保健所等の関係機関との調整について、市からの支援や連携は可能でしょうか。	提案内容による部分もございますが、調整可能なものにつきましては可能な限り市も連携して対応いたします。
13	2(2)ウ 2(1)目的	令和7年度に実施された「るるぶ特別編集 戸田市」と本業務との位置づけ（役割分担や連動方針）についてご教示ください。また同冊子で使用されたコピー表現や配布後の効果測定データ等を本業務で参考・活用することは可能でしょうか。	位置づけについて、現時点で市が想定する役割分担や連動方針はございません。なお、参考・活用については差し支えございません。
14	2(2)	戸田漕艇場に関わる関係団体（日本ボート協会、大学ボート部、市民団体等）や、市内事業者・商工団体との連携において、市が担われる調整範囲と、受注者に期待される役割分担についてご教示ください。	本事業を含む戸田公園周辺整備 賑わい創出プロジェクトについては、関係団体等で構成される「戸田市ボートのまちづくりコンソーシアム」を設置していることから、市では当該コンソーシアムに対しワークショップへの参加協力の依頼や、ブランディング事業の進捗を共有することを想定しております。また、受託者においては、ワークショップ等の運営や、参加者の意見集約、それらを踏まえたブランディング策定を担っていただく予定です。 また、フィールドプロモーション活動等のイベントの実施に際しては、市内事業者・商工団体を含む地元企業等が参画可能な形が望ましく、市においては戸田市商工会等を通じた調整等を想定しており、受注者側においては多様なステークホルダーを巻き込んだ、より魅力的な提案内容を期待するものです。
15	1(4)支出限度額	本業務は令和8年度・令和9年度の2か年事業ですが、年度ごとの予算配分や役割分担について、提案内容に応じて柔軟に設定することは可能でしょうか（例：令和8年度を戦略設計中心、令和9年度を本格展開中心とする等）。	役割分担については柔軟に設定いただき差し支えありませんが、予算配分については説明書の記載内容に基づくものを想定しており、契約後の途中変更は契約変更を要します。また、市としても、質問に記載された例示（令和8年度は戦略設計中心、令和9年度は本格展開）を想定しております。

戸田公園周辺ブランディング業務（プロポーザル選定）質問内容一覧

No.	仕様該当項目	質問内容	回答
16	2(1)目的	本事業において、市として現時点で想定されているKPI（認知度、好意度、行動変容、来訪者数等）がございましたらご教示ください。また、これら指標の測定に係る調査費用は、業務費内に含めて提案する想定でしょうか。	本事業は地域未来交付金を活用して実施する戸田公園周辺整備 賑わい創出プロジェクトの一環で行うものであり、KPIについては、市ホームページ（ <a href="https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/152/kikaku-chiikimiraisuisin.html">https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/152/kikaku-chiikimiraisuisin.html</a> ）掲載の資料に記載しておりますので参考としてください。 上記KPI確認のための調査費用等について提案者側に負担いただく想定はございません。一方で、SNS等の効果測定としてエンゲージメント数の把握等、効果を高めるための分析に必要なデータ等については、受託者側で主体的に収集をお願いいたします。
17	5(3)評価基準ウ	評価項目「事業の実績」における「類似業務」について、地方自治体との業務実績に加え、特定施設のプロモーションや企業ブランディング等の実績も評価対象となり得るか、解釈をご教示ください。	評価項目における「類似業務」については、あくまで地方自治体との業務実績が対象となるため、民間施設のプロモーションや企業ブランディングについては評価対象外となります。
18	履行機関／業務内容共通	令和10年3月31日の業務期間終了後に、事業全体の成果をまとめた報告書の提出は必須でしょうか。	報告書については令和10年3月31日までにご提出をお願いいたします。
19	全体	再委託に関する方針がございましたらご教示ください。	業務の全部を再委託することはできませんが、業務の一部について、再委託を妨げるものではございません。 なお、業務の一部を再委託する場合は「戸田市標準業務委託契約約款」に基づき、再委託先届出書（様式は任意）により、あらかじめ本市の承諾を得ていただく必要がございます。 業務の一部を再委託する予定である場合は、プロポーザル方式業者選定説明書に規定する「7（2） 人員配置や業務執行体制が分かる書類 様式は任意」において、再委託先を含め、人員配置や業務執行体制を明示してください。
20	2(2)業務内容	埼玉県が予定している「県営戸田公園の整備（公園出入口、観客席、遊具等）及び公園内施設の機能強化等」について、現時点で公表可能な範囲で具体的な内容をご教示ください。 本業務におけるフィールドプロモーション（体験型イベントやインフルエンサーによる現地発信等）の企画立案にあたり、新設・改修される施設（例：カフェ等の収益施設、Wi-Fi環境、夜間照明、子供向け遊具の特色など）の情報を反映させることで、より実現性が高く、ハードとソフトが連動した提案を行いたいと考えております。	現時点で公表できる内容につきましては、市ホームページ（ <a href="https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/152/kikaku-chiikimiraisuisin.html">https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/152/kikaku-chiikimiraisuisin.html</a> ）で公開しております。
21	その他	本業務の実施期間中（令和8年度～令和10年度）に、戸田市公式ホームページや、現在ある戸田公園関連の紹介ページをリニューアル、または特設サイトを構築する予定はありますか。 構築予定がある場合は、現時点で想定されているリリース時期についても併せてご教示ください。	現時点で、ホームページのリニューアルや特設サイトの構築予定はございませんが、本ブランディング業務のPRの一環として、市HPでもPRを行うことは想定しております。
22	公募資格	説明書記載の「令和5年以降における類似事業の自治体連携実績」を有しないのですが、その場合は参加資格がないものとなりますでしょうか？	お見込みのとおりです。
23	公募資格	上記に付随して、そのほか応募に際して必要な資格（入札参加資格等）がございますでしょうか？	公募資格要件につきましては、戸田市告示第170号 戸田市プロポーザル方式業者選定告示3 選定に参加する者の公募資格要件に記載のとおりとなります。
24	2(2)ウ	説明書記載の（ウ）～以外のPR、広告ツールについて（チラシ、のぼり、オリジナルロゴマークなど）ご提案内に必須となるツール、施策はございますでしょうか？	必須となるツールはございませんので、予算の範囲内でより効果的かつ魅力的なツール制作についてご提案いただくことを想定しております。
25	2(2)	「令和8年度から令和10年度に掛けて、埼玉県にて県営戸田公園の整備（公園出入口、観客席、遊具等）及び公園内施設の機能強化等の実施を予定」とありますが、特に活用したいと考えている設備があればご教示ください。また、もし具体的な設備の施工スケジュールのご共有が可能であれば併せて確認させてください。	戸田公園周辺整備 賑わい創出プロジェクトは、県と市の連携事業として、県では公園内施設等の一体整備（公園出入口、観客席、遊具等及びシェアキッチン施設の整備）を予定しており、市では本業務によるブランディング確立を目指しているものであることから、当該施設を効果的に活用することが望ましいと考えております。活用については、県営戸田公園及びポートコース等の地域資源の認知度向上や活性化、賑わいづくりに繋がる内容であれば、施設を限定するものではございません。なお、県営戸田公園内の遊具等の設備については県所有となることから、市では改修等はできませんのでご注意ください。 また、スケジュール等を含め、現時点で公表できる内容につきましては、市ホームページ（ <a href="https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/152/kikaku-chiikimiraisuisin.html">https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/152/kikaku-chiikimiraisuisin.html</a> ）で公開しております。

戸田公園周辺ブランディング業務（プロポーザル選定）質問内容一覧

No.	仕様該当項目	質問内容	回答
26	2(2)エ 2(2)カ	「エ ワークショップ等の実施」について、地域事業者を含んでほしい意図をお伺いさせていただきます。また、ワークショップの目的はあくまで戸田市のブランド強化につながる企画・開発であり、「カ フィールドプロモーション活動等の実施」に向けたディスカッションなどを想定されていますでしょうか。イメージに近い事例があればご共有いただけますと幸いです。	県営戸田公園及びポートコースにおけるブランド強化の観点においては、市民はもちろんのこと、市内事業者についても重要なステークホルダーとして考えているため、含めているものです。また、公園管理事務所内にシェアキッチンが設置される見通しであるため、その点でも事業者（特に飲食業）のご意見は必要と考えております。フィールドプロモーションに限ったものではございませんが、ワークショップを通じた意見や企画等を踏まえ、各実施事業に活用いただく形を想定しております。
27	2(2)ア	「幅広い世代を対象とした」と記載があるが、市として特に重点ターゲットとしたい世代はあるか？	国の地域未来交付金の計画上の成果指標について、下記の資料で示しております。 市ホームページ（ <a href="https://www.city.toda.saitama.jp/uploaded/attachment/79169.pdf">https://www.city.toda.saitama.jp/uploaded/attachment/79169.pdf</a> ） 当該KPIの向上に資するものは、市内外を問わずアプローチしていく必要があることから、優先順位等は定めておりません。
28	2(1)目的	KPI の設定に関して、市側で定めているものはあるか。	本事業は地域未来交付金を活用して実施する戸田公園周辺整備 賑わい創出プロジェクトの一環で行うものであり、KPIについては、市ホームページ（ <a href="https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/152/kikaku-chiikimiraisuisin.html">https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/152/kikaku-chiikimiraisuisin.html</a> ）掲載の資料に記載しておりますので参考としてください。
29	2(1)目的	市としてのシティプロモーションの戦略資料はあるか。	シティセールス戦略は平成26年に策定しておりますが、戦略に基づいた施策の実施結果や効果測定等の資料が無いため、参考としてください。
30	2(2)ウ( )	市として想定している「ブランドツール」のイメージはあるか。	現状では具体的なイメージはございませんが、地域資源との関連が明瞭であり、市内外問わず親しみやすくも、記憶に残るものを想定しております。
31	2(2)イ	「広告展開」において、既存媒体（例：戸田市×水と緑の公社（インスタグラムアカウント））などを活用することは可能か。	市の媒体については差し支えございません。また、市の外郭団体所有の媒体につきましては別途調整が必要ですが、協力を仰ぐことは可能であると考えております。
32	2(2)イ	プロモーションの具体的な内容は自由提案ですが、市として既に行っている、または行う予定、その他推奨できないプロモーションはあるか。	今年度、市制施行60周年の動画を作成予定です。一般的に公共性の観点から適切でないと考えられる内容については推奨しないものと考えます。
33	2(2)	「広報戸田市」やその他、市が発行しているような媒体との連携は可能か。	市の媒体等を活用した連携は可能ですが、時期や掲載量によっては、掲載枠の都合があるため、可否について確認調整を要する場合があります。
34	2(2)エ	ワークショップについて、市として取り上げたいテーマ等はあるか。	本市のブランド確立につながる企画・開発に加え、その他の業務内容に繋げるための魅力や課題の抽出など受注者がより柔軟に実施できる体制を想定しているため、テーマの指定や取り上げたい内容などの指定はございません。
35	2(2)エ	ワークショップについて、市として考えている実施場所、開催時期はあるか。	会場については市の公共施設等の活用を検討しております。なお、時期については指定はありませんが、複数回を想定しております。
36	2(2)カ	フィールドプロモーションについて、市として考えている実施場所、開催時期はあるか	その他の業務内容と連携してより効果的な方法の提案を求めていることから、現時点で開催場所や時期の指定はございません。